

当会会員のホクダイ（株）（安平町）が、
平成30年1月18日(木)付の、日刊工業新聞に紹介されました。

車部品ライン新設

ホクダイ冷却水ポンプ一貫生産

【札幌】ホクダイ（北海道安平町、佐藤洋明社長、0145・22・3501）は、自動車関連部品の生産体制を強化する。エンジン部品であるタイミングチェーンケース（TCC）の生産ラインを新設した。エンジンに冷却水を循環させるウォーターポンプの鑄造から加工まで一貫体制を整えた。人員増強や2018年度にかけて工場内の自動化なども図り、本格的に移働していく計画だ。総投資額は付帯設備も含めて約2億円。

増産へ人員増強

ホクダイは新たに8も整備した。ホクダイ50社のダイカストマシンを導入するなどTCCの生産を17年末に始めたほか、ウォーターポンプの加工まで対応できるようにライン

製品の流れの中で効率化などが図れると見ている。生産体制の強化に伴い、人員も増強する。17年10月以降に人員を26人から34人にしたほ

か、3月までに2、3人増やすことも想定する。佐藤社長は「2年ほど様子を見て、増産の要望などがあれば工場の拡張も検討したい」としている。



ホクダイは群馬県伊勢崎市の子会社で、主に自動車用エアコンのコンプレッサー部品ダイカストマシンを導入し、TCCの生産を開始

を生産し、グンダイに納入してきた。11年頃からアイシン北海道向けウォーターポンプのダイカスト品の生産も手がけている。ホクダイの17年3月期の売上高は約5億円。